

—明るい豊かな水産業界の未来を作ろう—

日本青年会議所 水産部会



私たちはJC運動を
応援しています

水産部会のあゆみ

1966年	横浜	設立総会
1975年	台湾	10周年記念事業
1977年	東京	【講演】安倍晋太郎農水大臣
1979年	串木野	【講演】荒勝蔵氏(水産庁長官)
1980年	長崎	【パネルディスカッション】金子原二郎部会長(参議院議員、元長崎県知事)『長崎県の漁業について』
1981年	東京	【講演】中井昭氏(水産庁長官)『食糧安全保障と水産業』
	鹿児島	【講演】牛尾治明氏『明日の日本を考える—行政改革—』
1982年	東京	【講演】松浦昭氏(水産庁長官)『日本の水産業の現状と将来』
1984年	八戸	08会設立
1984年	東京	【講演】安倍晋太郎外務大臣
		【講演】佐野宏哉氏(水産庁長官)
1985年	神戸	【講演】江戸家猫八氏『うそと誠』
		20周年
1990年	横浜	【講演】輪島功一氏(元プロボクシングミドル級チャンピオン)『腕一本で未来を開く』
		25周年
1995年	大阪	30周年
1996年	仙台	【講演】大田章氏(早稲田大学助教授)『ネバーギブアップ』
1999年	小倉	シニア会設立総会
2004年	長崎	【講演】山本昭夫氏(料亭 一力 社長)
		【講演】古野清寛
2005年	札幌	【講演】新党大地 代表 鈴木宗男氏『水産国日本と近隣諸国のありかた』
2011年	横浜	【講演】カルロスゴーン氏
2014年	東京	【講演】八木信行氏(東京大学大学院准教授)『TPPと水産業のゆくえ』
2015年	神戸	50周年
		【講演】木村清氏(すしざんまい代表)
2016年	台湾	海外事業 高雄 ASPACブース出展
2017年	ベトナム	海外事業 水産流通市場 視察
2018年	インドネシア	海外事業 魚加工業者訪問並びに工場視察
2019年	シンガポール	海外事業 商談、食の勉強会
2020年		コロナウイルス感染拡大防止のため活動を自粛

※上記は活動の一部です。

入会の申込・問い合わせ

入会、または詳しい説明を希望される方は下記の方法でお問い合わせください。

■入会希望者で“入会申込書”をお持ちの方

下記へ **ご郵送** で申込書をお送りください。

〒697-1322 島根県浜田市日脚町804

株式会社魚勝商店 内

日本青年会議所 水産部会事務局 名田勝之宛

■お問合せ

TEL 090-5669-2007 (担当:名田)

メール nadakatsu06@gmail.com

入会金
年会費

入会には入会金及び年会費が必要となります。

入会金 10,000円

年会費 20,000円
(JC現役会員)

JC卒業してからの入会: 35,000円/年会費 なし

※毎年一口3,000円の通信協力金を募らせて頂いております。

水産部会へようこそ



設立50周年記念動画



第57代部会長
古橋知樹

日本青年会議所水産部会は、漁業、流通業、水産加工業、小売業などの関連業に携わるJCメンバーが、自由な社会と経済発展を実現し、新しい水産業界を牽引するにふさわしい人材育成を目的として、1965年9月24日に誕生しました。

先輩諸兄姉の熱き想いが今も紡がれ運動を展開しております。かつては、世界を牽引するほどの成長産業であった日本の漁業生産量は、1984年をピークに37年間で約半分となる一方で、世界の漁業生産量は約2倍となりました。

その原因は、海洋環境の変動の影響に伴う水産資源の減少、燃料費などコストの高騰、少子高齢化による後継者不足と漁業就業者数の減少・高齢化と数々の大きな問題によるものです。人々の当たり前の日常が当たり前では無くなり、社会のなかでの価値観が大きく変化するなかで、日本の大切な産業である水産業の未来を創造するためにも、今まさに大きな社会の変化に対応するべく変革を推し進めていく重要な局面であります。

しかし変革には、忘れてはいけないこと、変わってはいけないことがあります。それは人と人との繋がりを大切にすることです。水産部会では自分事のように直向きになって、とことんまで仲間へ寄り添うことのできる同志だけでなく、何時でも我々に背中を見せ続けて来られた先輩諸兄姉がいます。人と人の繋がりが希薄化していくなかで、水産部会の繋がりは必ずや日本の水産業の力の源になると考えています。なぜならその根底にあるのは、自分事のように共感ができ、信頼し合える仲間と共に知恵を持ち寄り、助け合うことができるからであり、未来に向けて変革をもたらす勇気ある一歩が踏み出すことのできる原動力になるからです。

私は水産を愛し水産の未来と真剣に向き合う多くの仲間と出会い、共に時間を共有し共に学ぶことで、今までの人生観を大きく昇華させて頂きました。共に力を合わせ、輝ける水産業界の未来を描くことのできる素晴らしい仲間が増えていくことを、心より楽しみにお待ちしております。



事業計画

1月	京都部会・通常総会
3月	伊勢志摩部会
5月	ASPAC部会
7月	サマコン部会
8月	福島事業
9月	静岡部会
11	日光部会・卒業式
未定	農林水産大臣表敬訪問



What's Fisheries Division

水産部会とは

◆毎年1月には京都にて総会が開催され、全国のメンバーが一堂に会する重要な全国交流の場となっています。当部会は、現役会員数40名の精鋭と、約300名のOBで構成する歴史ある青年団体で、JC運動の基本である、地域づくり、人づくりにつながる「業界づくり」を目指し、各人の所属する業界における連携や協力体制、勉強会や国内外の視察などの事業を活発に行っています。

Our Activity

活動

- ◆年4回の部会を全国各地で開催します。また、京都会議・サマコンでは部会主体のブースも設けイベントを行います。
- ◆部会では、水産にまつわる講師をお呼びして講演会を開いたり、部会メンバー・シニア自らの成功体験などを講演したりしております。また、毎年部会長のテーマにより、オリジナルな事業を行っており、農水省、水産庁に提言書を手渡しする部会長も多々あります。
- ◆関係省庁、関係団体、プレスとの連携を図り、水産業界に問題提起、働きかけを行っております。
- ◆JCを卒業された方は、シニアとして水産部会をサポートしていただいています。現在シニア数300名ほどが全国にいらっしゃいます。
- ◆水産部会メンバーならびにシニアが共有するメーリングリストで、日々の連絡等を取っております。
- ◆資格 海・魚・マリンスポーツ等、その他にかく水産に興味あるJCメンバーならどなたでも入会OK!(シニアの方も特別会員として加入いただけます)

Our Power

パワー

- ◆(公社)日本青年会議所の分化団体となっており、現在36以上の業種別部会があります。水産部会内部のみならず、他の業種別部会の方々との交流があります。業種別部会に参加される方は、そもそもマンパワーにあふれている方々ですので、仕事仲間としても優れている方が多いです。

水産部会の活動



京都会議
定期総会

講演会開催



国内視察



海外視察
共同ブース出展



レクリエーション



活動の詳細はホームページでもご確認ください

URL <http://jc-suisanbukai.com/>

水産部会

検索